



卓越した若手研究者の育成を目指して

埼玉大学

テニュアトラック普及・定着事業

埼玉大学研究機構テニュアトラック第一回セミナー
第二回 埼玉大学レジリエント社会研究センター特別セミナー

Coastal Engineering and Coastal Disasters (海岸工学と海岸災害)

日時/ 2015年1月21日(水)、10:40~12:10

場所/ 埼玉大学建設工学科3号館 レジリエント社会研究センター
(旧地圏科学研究センター) 3F セミナー室

プログラム

Chairman Norio Tanaka (Professor, Saitama University)

10:40~11:20 「Introduction to coastal and ocean engineering in Korea」

Byung Ho Choi (Prof. Emeritus, Sungkyunkwan University, Korea)

11:20~12:00 「Impacts of tide on tsunami propagation due to a potential

Nankai Trough Earthquake in the Seto Inland Sea」

Han Soo Lee (Tenure Track Associate Professor, Saitama University)

12:00~12:10 Discussion

使用言語：発表は英語（日本語での討議も歓迎します。）

問い合わせ先：テニュアトラック推進オフィス 048-858-9158

ホームページ：<http://www.saitama-u.ac.jp/iron/tt/>

Coastal Engineering and Coastal Disasters

－海岸工学と海岸災害－

海岸とは海と陸との境界であると定義できます。しかし、それは線状のものとしてではなく、面あるいは空間として把握すべきものであります。海は古くから海の幸の宝庫、また交通や運輸の重要な場として活用されてきました。さらに、沿岸地域は農業や工業の生産の場、あるいは生活の場として活用され、社会の発展の重要な拠点となっています。一方、冷酷なまでに、自然が猛威をふるい、われわれに脅威の念を抱かせる場でもあります。海岸工学は、港湾や漁港の建設という従来の土木工学とくに港湾工学の重要な一部をなしていた、波と波力の推算、土砂移動、海岸構造物の計画・設計・施工に関連する課題から始め、海岸環境の保全および防災まで、その課題と研究分野が拡大されています。またさらに近年は、地球温暖化による海面上昇や海洋環境変化が及ぼす海岸環境への影響、海洋性レクリエーションの場としての活用など、海岸が抱えている諸問題への説明や対応を担っています。

今回のセミナーでは、韓国成均館大学校の名誉教授 チェ・ビョンホ 教授を招き、韓国における海岸工学の紹介と韓国西海岸における潮汐発電などを含む海岸工学の現状についてお話しいただきます。チェ先生は、米国土木学会の海岸・海洋・港湾・河川分科会が1979年から毎年贈られているInternational Coastal Engineering Awardの韓国最初の受賞者であり、韓国の海岸海洋工学会（元会長）を作り上げた第1人者でもあります（上記のInternational Coastal Engineering Awardがアジア現地学者へ贈られたのは今まで5人（日本：4名、韓国：1名）だけで、その一人目は本学の元学長の堀川 清司 先生でもあります）。

本セミナーの2件目は海岸防災に関連するテーマとして、巨大津波伝播における潮汐の影響について、埼玉大学テニユアトラック 李 准教授が講演します。今後30年以内発生確率80%以上といわれている南海トラフ大地震による巨大津波が瀬戸内海に伝播する際、潮汐との相互作用を考慮した津波伝播数値実験結果を中心に発表を行います。さらに、巨大津波に対する津波防災のあり方について考えることができると思いますので、専門分野に関わらず、ご参加いただければと思います。